

2014年第1問

1枚目/2枚.


 数理
石井K

1 1から5までの5つの自然数のうち、いずれかの1つの数字が確率的に表示される3つの装置A, B, Cがある. 各装置A, B, Cで数字 n ($1 \leq n \leq 5$)が表示される確率をそれぞれ $P_A(n)$, $P_B(n)$, $P_C(n)$ とし,

$$\sum_{n=1}^5 P_A(n) = \sum_{n=1}^5 P_B(n) = \sum_{n=1}^5 P_C(n) = 1$$

が成り立っている. a, b, c, k を実数とし, $f(n) = 2^{-(n-3)^2}$ とするとき, 以下の問いに答えよ.

- (1) $P_A(n) = a \cdot f(n)$ であるとき, 装置Aで各数字が表示される確率と, 表示される数字の期待値を求めよ.
- (2) $P_B(n) = 2^{-2n+5} \cdot b \cdot f(n)$ であるとき, 装置Bと(1)で確率を求めた装置Aの表示が, 両方とも偶数である確率を求めよ.
- (3) $P_C(n) = 2^{-n^2+kn} \cdot c \cdot f(n)$ であり, (1)の $P_A(n)$ が最大となるときの n を m とする. このとき, $P_C(n)$ が最大となる n と m が等しくなる k の範囲を求めよ.

$$\begin{aligned} (1) \sum_{n=1}^5 P_A(n) &= \sum_{n=1}^5 a \cdot f(n) \\ &= a \sum_{n=1}^5 2^{-(n-3)^2} \\ &= a \left(\frac{1}{16} + \frac{1}{2} + 1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{16} \right) \\ &= \frac{17}{8} a \end{aligned}$$

$$\therefore \sum_{n=1}^5 P_A(n) = 1 \text{ より, } a = \frac{8}{17}$$

$$\therefore P_A(1) = P_A(5) = \frac{1}{34}, P_A(2) = P_A(4) = \frac{4}{17}, P_A(3) = \frac{8}{17} //$$

$$\text{また, 期待値は, } \frac{1}{34} \cdot (1+5) + \frac{4}{17} \cdot (2+4) + \frac{8}{17} \cdot 3 = \underline{\underline{3}} //$$

$$\begin{aligned} (2) (1) \text{と同様にして, } \sum_{n=1}^5 P_B(n) &= b \cdot \sum_{n=1}^5 2^{-n^2+4n-4} \\ &= b \sum_{n=1}^5 2^{-(n-2)^2} \\ &= b \left(\frac{1}{2} + 1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{16} + \frac{1}{512} \right) \\ &= \frac{1057}{512} b \end{aligned}$$

$$\therefore \sum_{n=1}^5 P_B(n) = 1 \text{ より, } b = \frac{512}{1057}$$

2枚目につづく.

2014年 第1問

2枚目 / 2枚

1 1から5までの5つの自然数のうち、いずれかの1つの数字が確率的に表示される3つの装置A, B, Cがある。各装置A, B, Cで数字 n ($1 \leq n \leq 5$)が表示される確率をそれぞれ $P_A(n)$, $P_B(n)$, $P_C(n)$ とし、

$$\sum_{n=1}^5 P_A(n) = \sum_{n=1}^5 P_B(n) = \sum_{n=1}^5 P_C(n) = 1$$

が成り立っている。 a, b, c, k を実数とし、 $f(n) = 2^{-(n-3)^2}$ とすると、以下の問いに答えよ。

- (1) $P_A(n) = a \cdot f(n)$ であるとき、装置Aで各数字が表示される確率と、表示される数字の期待値を求めよ。
- (2) $P_B(n) = 2^{-2n+5} \cdot b \cdot f(n)$ であるとき、装置Bと(1)で確率を求めた装置Aの表示が、両方とも偶数である確率を求めよ。
- (3) $P_C(n) = 2^{-n^2+kn} \cdot c \cdot f(n)$ であり、(1)の $P_A(n)$ が最大となるときの n を m とする。このとき、 $P_C(n)$ が最大となる n と m が等しくなる k の範囲を求めよ。

(2) のつづき。

A が偶数の表示となる確率は $P_A(2) + P_A(4) = \frac{8}{17}$

B が $P_B(2) + P_B(4) = \frac{512}{1057} \left(1 + \frac{1}{16}\right) = \frac{544}{1057}$

$$\therefore \frac{8}{17} \times \frac{544}{1057} = \frac{256}{1057} //$$

(3) (1) より $m = 3$ である。

$$\begin{aligned} \text{一方, } P_C(n) &= 2^{-n^2+kn} \cdot c \cdot f(n) \\ &= c \cdot 2^{-2n^2+(k+6)n-9} \end{aligned}$$

$$= c \cdot \sum_{n=1}^5 P_C(n) = 1, \quad 2^{-2n^2+(k+6)n-9} > 0 \text{ (} c > 0 \text{)}$$

$$\therefore g(n) = -2n^2 + (k+6)n - 9 \text{ とおくと。}$$

$$P_C(n) : \text{最大} \Leftrightarrow g(n) \text{ が最大}$$

$$\therefore \text{軸は } x = \frac{k+6}{4} \text{ これが } \frac{5}{2} \leq n \leq \frac{7}{2} \text{ の範囲にあればよい}$$

$$\therefore \frac{5}{2} \leq \frac{k+6}{4} \leq \frac{7}{2} \quad \therefore 10 \leq k+6 \leq 14$$

$$\therefore \underline{4 \leq k \leq 8} //$$

